

教えてパンチさん!

VOI・2 合併特例債の使い道と市の財政編

笠間市総合計画に基づいた事業のうち、市の一体性を高めたり、均衡ある発展や住民福祉の向上を実現する事業の財源として、合併特例債を活用しています。

具体的には、旧市町を結ぶ道路の整備や地域の発展に必要な駅周辺の整備、小中学校の耐震化、認定こども園や地域交流センターの整備など市民の生活に身近な事業に活用していて、平成18年度から29年度までの12年間で約176億円を借り入れています。

笠間サポーターズ第1号のパンチ佐藤です！
新コーナーとして
2回目の登場となります！

今回僕がお知らせするのは、市の財政についてだよ！いろいろなものに税金が活用されているから、しっかりと読んでくれたまえ。

まずは、これまでの合併特例債の使い道とこれからについてだ。



パンチ佐藤がお伝えます！

平成28年度まで

旧市町を結ぶ道路の整備や老朽化が進んでいた小中学校の耐震補強などの事業を実施。

道路整備事業

- 笠間小原線（桂町工区）、大淵飯田線、友部池野辺線、友部1級3号線（小原）ほか

都市整備事業

- 岩間駅駅舎・自由通路等、岩間駅東大通線、友部駅周辺整備

学校施設等整備事業

- 改築 岩間中学校、笠間学校給食センター
- 耐震補強 友部中学校、笠間小学校、岩間三小体育館、笠間中学校、宍戸小学校、岩間第二小学校

その他

- まちづくり振興基金積立、地域交流センター、認定こども園整備、地域医療センター

平成18年度から28年度までの間に、合計151億2,910万円を借り入れました。

平成29年度

道路整備では、南友部平町線等の整備を進めました。また、その他の事業として、地域医療センター等の整備を実施。

道路整備事業

- 南友部平町線 2,840万円
- 笠間小原線 4,960万円

都市整備事業

- 友部地区浸水対策 6,680万円
- 笠間稲荷周辺まちづくり拠点整備 1億1,340万円

学校施設等整備事業

- 小学校校舎エアコン設置 3億30万円
- 笠間中学校武道場建設 1億3,390万円

その他

- 地域交流センター整備 1億8,730万円
- 地域医療センター整備 5億2,580万円

平成29年度は、合計24億3,460万円を活用しました。



地域医療センターかさま



地域交流センターいわま



笠間中学校武道場

合併特例債とは、合併した市町村が、新市建設計画に基づいて行う新しいまちづくり事業の財源として借り入れることができる地方債（借入金）のことをいいます。これは、将来市が支払う返済金の70%が普通交付税として国から補填される有利な借入金です。合併特例債の活用期間は、合併初年度を含む10か年度に限られ、笠間市では、平成27年度までとなっていました。震災によって被災した特定被災地区として期限を延長することが可能となり、期間を平成37年度まで延長しました。

今後の使い道

平成31年度	平成30年度
<p>現在まで進めてきた幹線道路の整備や市役所本庁舎大規模改修、道の駅整備、中学校校舎空調整備等への活用を予定しています。</p> <p>道路整備事業</p> <p>○南友部平町線 7,620万円</p> <p>都市整備事業</p> <p>○友部地区浸水対策 2,370万円</p> <p>学校施設等整備事業</p> <p>○中学校校舎エアコン設置 1億9,470万円</p> <p>その他</p> <p>○市役所本庁舎大規模改修 4億8,450万円</p> <p>○道の駅整備 3億8,000万円</p>	<p>道路整備では、南友部平町線等の整備を予定しています。また、その他の事業として、市民センターいわま大規模改修等を実施します。</p> <p>道路整備事業</p> <p>○南友部平町線 1億4,810万円</p> <p>都市整備事業</p> <p>○笠間稲荷周辺まちづくり拠点整備 7,820万円</p> <p>学校施設等整備事業</p> <p>○中学校校舎エアコン設置(設計) 1,990万円</p> <p>○みなみ学園義務教育学校整備(設計) 2,060万円</p> <p>その他</p> <p>○市民センターいわま大規模改修 3億3,230万円</p> <p>○道の駅整備 4億5,040万円</p> <p>平成30年度は、約18億円の合併特例債の活用を予定しています。</p>



真に必要なものを厳選し、有効に活用していきます。

暮らしに直結する
さまざまな施設の整備などに使われているんだ!

合併特例債活用事業

道路整備事業

(単位:百万円)

事業名	事業年度	事業費	借入(予定)額
友部1級12号線(平町~大古山)	H18~H21	919.7	424.3
大湖飯田線	H18~H22	587.9	289.9
上町大沢線	H18~H25	497.9	303.0
南友部平町線	H18~H35	2,125.3	1,208.5
来栖本戸線	H19~H32	1,490.1	831.9
笠間小原線(桂町工区)	H21~H30	797.1	342.4
友部2級5号線	H25~H34	677.8	292.5
その他の道路整備	—	4,824.4	2,411.8
小計		11,920.2	6,104.3

都市整備事業

(単位:百万円)

事業名	事業年度	事業費	借入(予定)額
岩間駅周辺整備	H18~H24	2,366.2	1,641.2
岩間駅東大通線	H21~H27	706.9	319.0
友部駅周辺整備(地区道路)	H26~H32	317.8	224.6
笠間稲荷周辺まちづくり拠点整備	H28~H30	304.8	191.8
その他の都市整備	—	1,191.2	711.5
小計		4,886.9	3,088.1

学校等整備事業

(単位:百万円)

事業名	事業年度	事業費	借入(予定)額
友部中学校	H18~H19	805.5	589.0
岩間中学校	H20~H22	1,391.7	793.8
笠間学校給食センター	H23~H25	930.4	822.8
笠間中学校武道場整備	H27~H29	262.3	232.3
小学校校舎エアコン設置	H28~H29	398.4	313.0
その他の学校等整備	—	1,676.5	1,127.8
小計		5,464.8	3,878.7

その他

(単位:百万円)

事業名	事業年度	事業費	借入(予定)額
まちづくり振興基金積立	H23~H26	1,780.0	1,691.0
地域交流センター整備	H26~H29	1,337.1	775.7
認定子ども園整備	H26~H28	1,618.4	1,522.7
地域医療センターかさま整備*	H27~H30	1,314.4	874.9
その他の事業	—	4,211.4	3,464.8
小計		10,261.3	8,329.1

*医療センターについては全体事業費約19億円のうち合併特例債対象のみ記載しています

合計	32,533.2	21,400.2
----	----------	----------

○合併特例債起債可能上限額…約322億円
平成30年度末までの合併特例債借入(予定)総額
約177億円

笠間市では、約322億円の合併特例債の活用が可能ですが合併協議会において、これをすべて活用するのではなく、道路や学校の耐震化などの真に必要なものに活用するとしており、今後もこの方針を基本に、財政状況等と照らし合わせながら活用する予定です。

○まちづくり振興基金への積立上限額…約26億7千万円
まちづくり振興基金への積立額
約17億8千万円(積立上限額の約67%)

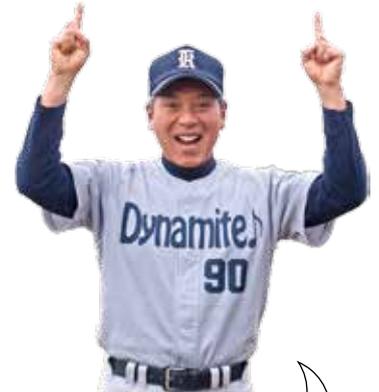


◀合併特例債の使い道の詳細については、こちらからご覧ください。

平成29年度 決算報告

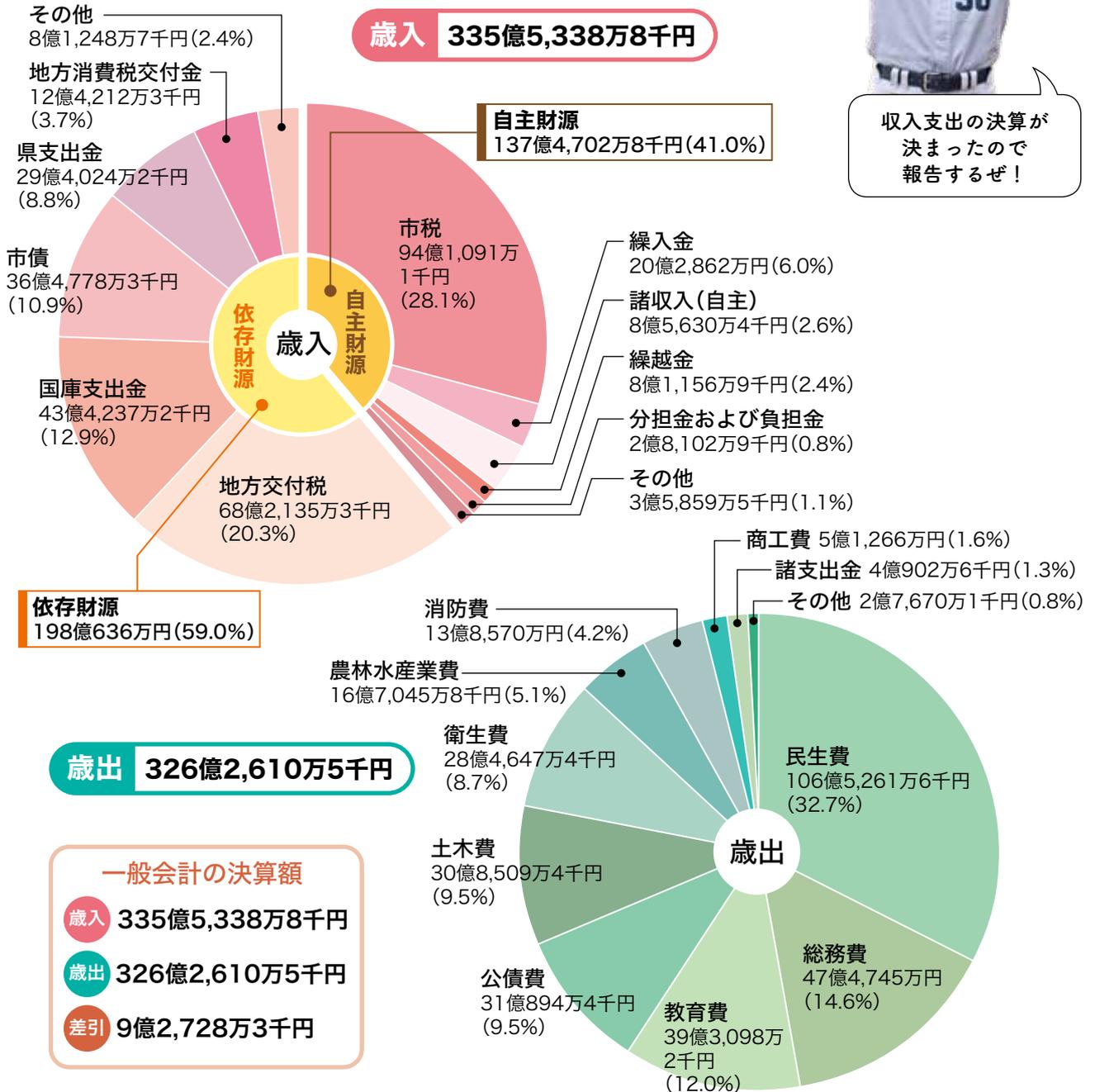
平成29年度決算が、9月の笠間市議会で認定されました。市の財政は、皆さんが納めた税金をはじめ、国や県からの補助金・交付金などを財源としているんだ。医療や福祉、土木、教育など、市民生活の向上と住みよいまちづくりのために使われているんだよ！

市政運営は、皆で支え合うことが大切だって分かるよね！



収入支出の決算が決まったので報告するぜ！

一般会計



基金の状況	現金	有価証券	土地	計
	151億4,851万7千円	6億円	—	157億4,851万7千円
市債残高の状況	一般会計	特別会計	企業会計	計
	312億6,557万3千円	193億3,073万1千円	38億3,532万4千円	544億3,162万8千円



一人あたりに換算すると、
約42万円の税金を投入してるんだよ！

<p>土木費</p> <p>市道の整備・補修や公共下水道の整備など</p>  <p>40,241円</p>	<p>公債費</p> <p>市債の元金・利子の返済</p>  <p>40,552円</p>	<p>教育費</p> <p>各小中学校や公民館・図書館の運営など</p>  <p>51,275円</p>	<p>総務費</p> <p>税金の賦課、戸籍や住民登録の経費、広報紙の発行など</p>  <p>61,925円</p>	<p>民生費</p> <p>高齢者・障害者福祉対策や医療福祉など</p>  <p>138,950円</p>	<p>市民一人あたりに使われたお金</p> <p>平成30年3月31日 現在人口 (住民基本台帳) 76,665人で算出</p> <p>合計 425,567円</p>
<p>議会費</p> <p>議会の運営など</p>  <p>3,423円</p>	<p>諸支出金</p> <p>病院・水道事業への支払金など</p>  <p>5,335円</p>	<p>商工費</p> <p>商工業支援や観光施設管理など</p>  <p>6,687円</p>	<p>消防費</p> <p>消防団や防災施設の整備など</p>  <p>18,075円</p>	<p>農林水産業費</p> <p>農林業振興支援や農地の基盤整備など</p>  <p>21,789円</p>	<p>衛生費</p> <p>予防接種や各種健診、ごみ処理事業など</p>  <p>37,129円</p>

特別会計

区分		歳入	歳出	差引	
特別会計	国民健康保険特別会計	100億7,886万5千円	95億1,314万1千円	5億6,572万4千円	
	後期高齢者医療特別会計	7億6,342万5千円	7億6,092万8千円	249万7千円	
	介護保険特別会計	63億4,424万8千円	62億8,960万3千円	5,464万5千円	
	介護サービス事業特別会計	2,395万8千円	2,018万1千円	377万7千円	
	公共下水道事業特別会計	26億1,603万5千円	25億4,125万8千円	7,477万7千円	
	農業集落排水事業特別会計	8億1,985万6千円	8億889万6千円	1,096万円	
岩間駅東土地区画整理事業特別会計	5,778万9千円	5,778万9千円	0万円		
企業会計	病院事業	収益的	6億8,833万円	7億194万円	△1,360万9千円
		資本的	13億1,147万7千円	13億9,768万7千円	△8,621万1千円
	上水道事業	収益的	18億9,403万4千円	17億248万7千円	1億9,154万7千円
		資本的	7,689万9千円	5億7,601万3千円	△4億9,911万4千円
	工業用水道事業	収益的	2,935万2千円	2,541万4千円	393万8千円
		資本的	0円	0円	0円

保険無料相談受付中!

36社の保険商品であなたにピッタリのプランを専門家と一緒に選べます!



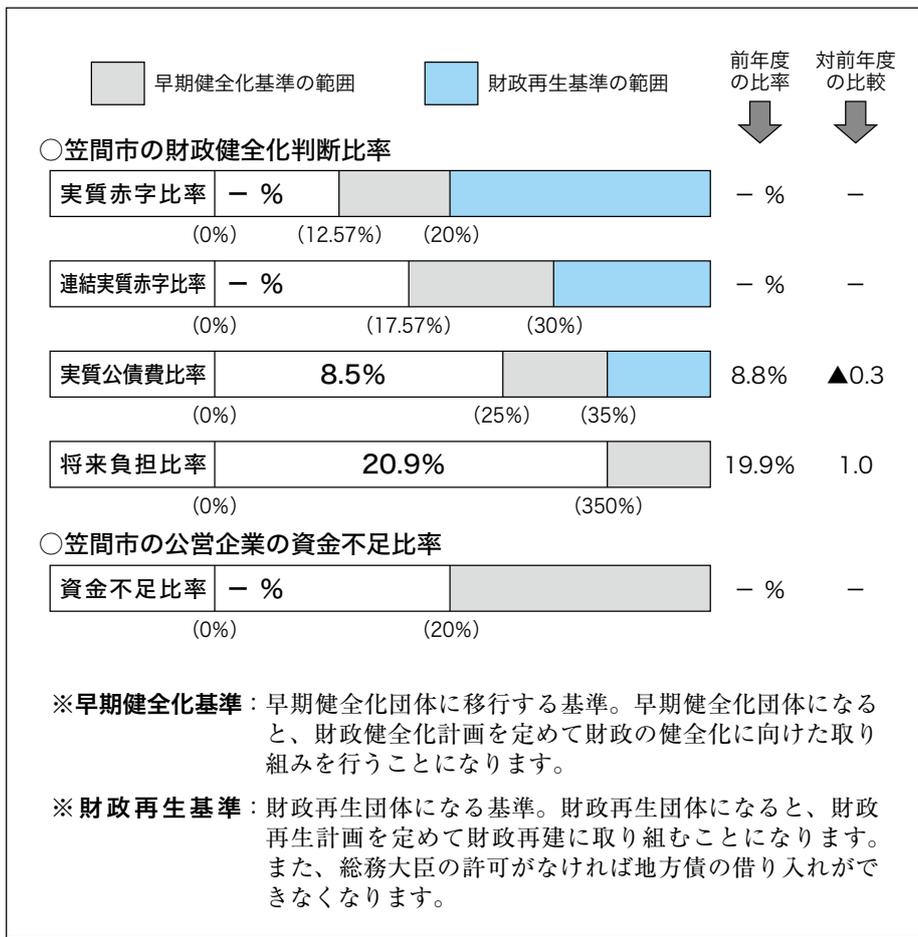
やさしい保険プラザ 友部スクエア店



☎ 0120-650-121 笠間市住吉1364-1 (伊勢甚友部スクエア内)

笠間市の財政健全化法に 基づく財政指標の概要

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」に基づき、平成29年度笠間市の財政健全化判断比率および公営企業の資金不足比率をお知らせします。平成29年度決算に基づき算定した結果、すべての比率で基準を下回っています。今後とも限られた財源の重点的かつ効率的な予算の配分を行うとともに、節度ある財政運営に努めていきます。



我が笠間市は赤字比率もなく、将来負担比率も20.9%であり、健全な財政運営が行われていることが分かりますよね！



用語の解説

◆実質赤字比率

普通会計（一般会計）の赤字の程度を指標化し、財政経営の悪化の度合いを示すものです。笠間市の決算額は黒字であるため「0%」と表示しています。

◆連結実質赤字比率

全会計（一般会計＋特別会計等）の赤字や黒字を合算し、笠間市全体としての財政経営の悪化の度合いを示すものです。笠間市の連結決算額は黒字であるため「0%」と表示しています。

◆実質公債費比率

借入金（地方債）の返済額およびこれに準ずる額の大きさを指標化し、借入金の返済による財政負担の程度を示すものです。（全会計＋笠間地方広域事務組合などの一部事務組合等が対象）

◆将来負担比率

一般会計等の借入金や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すものです。（全会計＋一部事務組合＋第三セクター等が対象）

◆資金不足比率

病院事業など各公営企業会計の資金不足の程度を指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すものです。公営企業に資金不足額はありませので「0%」と表示しています。

【問い合わせ】 財政課（内線213）

楽腰館 東平鍼灸接骨院

交通事故、労災 各種保険取扱い

無料送迎実施中

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～12:30	○	○	○	/	○	○	○
午後2:30～ 8:30	○	○	○	/	○	○	○

休診日/木曜日

土・日診療中

〒309-1705 茨城県笠間市東平2-12-8

TEL 0296-77-9939

FAX 0296-77-9809